

信州

おぶせ



栗と北斎と花のまち

歴史を見る文化に触れる

小布施観光案内帖

小布施へのアクセス

●電車の場合 (JR+長野電鉄)

JRで

- 東京方面から
(新幹線で) 東京 — 1時間30分 — 長野
- 関西方面から 大阪 — 4時間 — 長野
- 中京方面から 名古屋 — 3時間 — 長野
- 北陸方面から
(新幹線で) 金沢 — 1時間 — 長野

●新潟方面から

- (新幹線で) 新潟 — 2時間 — 長野
- 長野電鉄で…… 長野 — 35分 — 小布施
- 小布施 — 30分 — 湯田中

●車の場合

- 上信越自動車道「小布施スマートIC」(ETC専用)から5分
- 上信越自動車道「信州中野IC」から7分
- 上信越自動車道「須坂長野東IC」から15分
- 国道18号線「豊野」信号から5分

●お問い合わせ

小布施文化観光協会

〒381-0201 長野県上高井郡小布施町大字小布施1497-2(小布施駅舎内)

TEL.026-214-6300 FAX.026-214-6363

<https://www.obusekanko.jp/>

e-mail:kanko-information@obusekanko.jp

小布施町役場

〒381-0297 長野県上高井郡小布施町大字小布施1491-2

TEL.026-247-3111(代)

<https://www.town.obuse.nagano.jp>

e-mail:obuse@town.obuse.nagano.jp

長野県
小布施町

本誌、各施設の見出しの後にマップ上の位置を記しています。(例 D-2)



小布施町

Obuse machi



小布施町は半径2kmの中に全ての集落が入る、長野県で一番小さな町です。千曲川と松川が合流する地点にあり、二つの川が合う「逢う瀬」が「小布施」となったとも言われています。

600年の歴史を持つ小布施栗や、郷土料理が自慢です。住民参加の「花のまちづくり」も盛んで、四季折々に彩る花の美しい町です。

小布施は江戸の昔から、訪れた画人、文人を魅了し、葛飾北斎や、小林一茶などが多くの作品を残しています。

「栗と北斎と花の町」、「歴史と文化の町」、小布施の散策をお楽しみください。

P.4 小布施 マップ



P.6 北斎館



P.8 岩松院



P.24

歳時記



P.16

古刹



P.10

おぶせ
ミュージアム
中島千波館



P.28

ハイウェイ
オアシス



P.18

花の
まちづくり



P.12

美術館
めぐり



P.30

観光情報



P.20

食



P.14

町並
小径



バス 町内周遊シャトルバスコース

- 小布施総合公園前 → 小布施駅前 → 北斎館入口 → おぶせミュージアム・中島千波館 → 町営松村駐車場 → フローラルガーデン前 → 浄光寺前
- 運行日…4月～11月(GW、土・日・祝日、行楽期の平日) ● 運行時間…9:30～17:00
- 料金…大人500円、小学生300円、団体(10枚以上)2割引 (約1時間に1便)

サイクリングコース(例)

約10km (1～2時間)

- 高井鴻山記念館 → おぶせミュージアム・中島千波館 → 岩松院 → 浄光寺 → 小布施総合公園 → 松川堤防経由 → フローラルガーデン

※レンタサイクルの営業所の電話番号は30-31ページを参照ください

ウォーキングコース(例)

約6km

- 小布施駅 → 岩松院 → せせらぎ緑道経由 → 浄光寺 → フローラルガーデン → 北斎館 → おぶせミュージアム・中島千波館

小布施マップ

Obuse Map



0 丸数字は掲載ページ

- 交差点
- バス停留所
- レンタル自転車
- 駐車場
- 公衆トイレ
- ガソリンスタンド



至信州中野IC
この先約600m
上下諏訪神社あり

千曲川

19 千曲川
リバーサイドパーク

小布施スマートIC
(ETC専用出入口)

小布施PA

至須坂長野東IC

至須坂長野東IC 至長野(村山経由)

0 500m





北斎

Hokusai



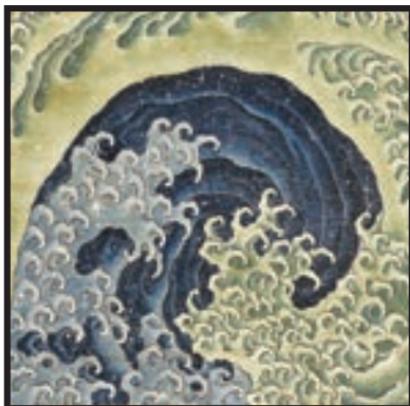
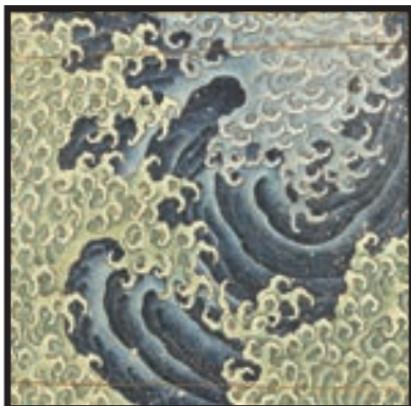
北斎が愛した町、小布施の「アート浪漫」

天保年間、江戸日本橋本銀町で呉服商などを営む小布施出身の十八屋を介して、高井鴻山が浮世絵師葛飾北斎と出会います。その数年後、北斎は鴻山の招きに応じて小布施を訪れました。

北斎が初めて小布施を訪れたのは、実に83歳の秋でした。以後、北斎は都合4回小布施を訪れ、晩年の集大成である肉筆画に全力を注ぎ込みました。当時の小布施は北信濃の経済の中心地として栄え、小布施文化の華開いた時代でした。北斎は、この地で絵師としての充実感を得て、安らぎに満ちた時を過ごしたのです。

「富士越龍」





上左／東町祭屋台天井絵「龍」
 上右／東町祭屋台天井絵「鳳凰」
 下左／上町祭屋台天井絵「男浪」
 下右／上町祭屋台天井絵「女浪」



画狂老人 葛飾北斎
 肉筆画の世界「北斎館」 D-2

昭和51年、町内に遺されている北斎作品の散逸を防ぎ、収蔵・公開するための美術館として建設されました。肉筆画や版画、版本などを数多く所蔵し、2基の祭屋台を展示しています。今なお鮮やかな魅力を放つ4面の屋台天井絵は、北斎晩年の傑作として広く知られています。



山石松院

Ganshojin



曹洞宗梅洞山「岩松院」F-1

■ 北斎晩年の傑作

「八方睨み鳳凰図」

本堂内の大間、21畳の大きさの極彩色の天井絵。江戸末期の嘉永元年（1848）北斎89歳の作品。岩絵具は中国より輸入した辰砂・孔雀石・鶏冠石などの鉱石を用い、その価は150両。金箔を4400枚使用し、色彩・光沢は少しも変化していません。北斎晩年最大の作品です。



岩松院仁王門

高井鴻山記念館 D-2

戸へ遊学し、儒学、書、絵、漢詩など幅広い教養を修得しながら、自由で幅広い人脈を築きあげました。高井家の当主となつてからも、幕末維新の激動期に時局に対応しつつ、国利民福への信条を貫いた人です。また、江戸の浮世絵師葛飾北斎など多くの文人墨客を招き、小布施を文化の香り高い地に育みました。



高井鴻山は、江戸末期の文化3年（1806）飯山藩や京都・九條家の御用達であつた小布施有数の豪農・豪商の家に生まれました。若くして京都や江

江戸の面影残す「脩然楼」（見学可）
 記念館は、鴻山の書斎兼サロンだった「脩然楼」を主体として、高井家の穀蔵など三棟を展示場として利用したミュージアムです。「脩然楼」は二階建て京風建築で、かつて北斎や象山をはじめ多くの文化人で賑わいました。館内には、鴻山の遺墨遺品の他、当時の一流作家である師・知友の作品を展示しています。



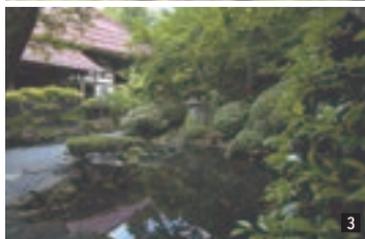
高井鴻山筆「象と唐人図」（四曲屏風）



「脩然楼」（町史跡）の二階



2



3

2 福島正則の靈廟

正則は元和5年（1619）秋、威勢を誇つた広島50万石の名から幕府の謀略に



よりこの信越地方に国替えさせられました。失意の底にありながら、領主となつた正則は、領内の改革に取り組み、新田開発などを施工。特に松川の乱流を防ぐための「大夫の千両堤」は今もその一部が史跡として保存されています。

3 一茶と蛙合戦の池

寺の桜の花見時になると裏庭の小さな池にヒキガエルが集まり、求愛をするカエル合戦の池として有名。

1年のうちの約5日間、昼夜の別なくヒキガエルのくくみ声が聴こえるのは、静かな山寺の春の風情です。俳人小林一茶はカエル合戦を見て「やせ蛙まけるな一茶これにあり」と詠みました。



美術館

Museums-1



個性豊かな美術館群。

高井鴻山が土台を築いた

芸術を愛する風土は、

今も小布施人によって

連綿と受け継がれています。

おぶせミュージアム・

中島千波館

D-2

D-2は4ページの地図中の位置です

おぶせミュージアム・中島千波館は、
小布施出身の日本画家・中島千波と
金属造形作家・春山文典の作品を中
心に収蔵している美術館です。館内
は中島千波作品を常設展示する中島
千波館、企画展示室、江戸後期から
明治期の町内の祭り屋台5台を展示
する屋台蔵、地域の作家等の文化活
動の発表の場として様々な活用され
ている木造館で構成されています。



「富貴華宴」中島千波



「樹霊淡墨櫻」中島千波

その他にもミュージアムショップや、ゆつくりくつろげる喫茶室もあります。また、広い敷地には四季折々の花や木をあしらひ、訪れる人々をなごませていきます。

中島千波

日本画家の中島清之を父に持つ中島千波は、昭和20年疎開先の小布施で生まれました。桜や牡丹などみずみずしく華やかな花の作品、人間性を追求した人物画の大作、新聞小説の挿絵や本の装丁など、幅広い分野で活躍し、挑戦し続ける姿は高く評価されています。

春山文典

令和元年、日本藝術院会員となった春山文典は、昭和20年母方の実家がある疎開先の小布施で生まれました。日展や、日本現代工芸美術展で活躍する金屋造形作家で、国内はもとより海外でも高い評価を得ています。小布施駅前の「豊穰の門」は、小布施の自然の豊かさや文化を表現した作品です。



「風を記す」春山文典



福原祭り屋台



「眠'91-8-炎」中島千波

美術館

めぐり

Museums-2



日本のあかり博物館 D-2
国の重要民俗文化財を中心に、小布施周辺の北信地域で収集した和製灯火具1000点を展示する博物館です。江戸から大正初期に使われた、ろうそく・石油・ガス・電灯などを紹介。明るさを比較体験できるコーナーもあり、日本のあかりの歴史を知ることができます。



古陶磁コレクション展 D-2
庵主が、20数年の歳月をかけて集めた古陶磁器の個人博物館。実際に手に触れるコーナーもあり、鑑識眼を養う絶好のチャンス。日本の古陶磁(甕や皿類)等、約150点を年代順に常設展示、古陶磁から文化的背景やその変遷を辿ることができます。

ガラススタジオ「Loos D-2
スウェーデンの王室御用達工房で修業を積んだ作家・みかみ理子氏とあぜがみ貢氏がオリジナル作品を制作、展示販売しています。ガラス体験もできます。

ぎやらりい蔵 D-2
土蔵を改修した空間で絵画、版画、陶磁器などを展示しています。

ギヤラリー「唐十郎 D-2
月岡唐十郎(とうじゅうろう)さん創作の陶芸、水墨画、浮世絵年賀状版画の他、北斎の「富嶽百景」などが並びます。

ギヤラリー「小布je D-2
時代を感じさせる古道具の中でオーナーの遠藤加代さんの手作りの洋服や作家物の人形・織り衣等が遊び交う楽しい空間。

小布施町立図書館 まちとしょテラソ C-2



小さな栗の木美術館 D-2
栗菓子子の老舗、桜井甘精堂7代目、桜井佐七氏の個人コレクションを収蔵・展示しています。死後に評価された夭折の画家などの味わい深い作品20数点を常設展示。その他企画展も実施。小布施の旧家、高津家の土蔵を改造したミニ美術館です。

文化・芸術の薫る小布施では、美術館だけでなく図書館もその中核を担っています。「交流と創造を楽しむ、文化の拠点」をコンセプトに、2009年リニューアル開館。町民協働でつくられてきた経緯を持ち、「学びの場」「子育ての場」「交流の場」「情報発信の場」の4つを柱として運営がなされています。

デザインは、古谷誠章さん。屋根のデザインはまちの周囲の優しい山の形から着想され、桜の老木を避けるように作られた光庭や、枝分かれした巨木のような柱に支えられた開放的で明るい館内は、ま



歴史民俗資料館 E-1
小布施の考古資料と、暮らしの移り変わりを伝える生活用具や産業用の道具、資料など1000点余りを収集して展示しています。

建物は、かつての都住小学校校舎を再生したものです。

るで星の降る森。自然に溶け込む優しい空間が特徴的です。

利用者からは、「まちとしょテラソ」の愛称で親しまれ、「町」の図書館であること、学校帰りなどの待ち合わせに活用されることから「まち」。ここから世界を照らしていきたいという想いと、TERRA 地球、SOW 種蒔きとの意味を込めて「テラソ」と名付けられました。

テラソらしい場づくりを大切に、押し柵(町民の選書棚)や5分棚(待ち時間5分で読める棚)などの他、テラソのがっこうなど、様々なイベントを打ち出しています。

Art & Craft 4JSP D-2
オーナーは小布施在住の家具職人・古川喜啓さん。オリジナル作品をはじめ、陶器や木の小物などが並んでいます。





1



小径

「外はみんなのもの、
内は自分たちのもの」
住む人の生活の利便性と、
訪れる人たちをなごませる
空間、どちらにも心を配っ
た落ち着いた町並。
栗の角材を敷いた歩道、土
色の壁と瓦屋根のコントラ
スト…。小径を歩いて小布
施の歴史を感じてください。

Street and Paths



町並





3



2

1 栗の小径

名産の栗の木を敷き詰めた道は、木の感触が足に優しいやすらぎの小径。北斎館と高井鴻山記念館をつなぐ路地のことです。この道を北斎や鴻山が歩いたのかと考えると、また違った興味が湧いてきます。

2 陣屋小路

小布施には、江戸時代中期の元禄14年（1701）から正徳5年（1715）までの15年間、幕府領として代官所が置かれていました。

陣屋小路を歩き陣屋稲荷まで行くと、古びた石の祠が歴史の忘れ形見のように往時そのままの姿で残されています。

3 平松家の土蔵と小道

かつては將軍家に献上していたほど良質な小布施栗。その栗畑が広がるエリアに栗農家、平松家があります。収穫した栗を選定する作業場の2階は養蚕に使われていたことも。周辺の小道を散策するとどこか懐かしい情感を与えてくれます。





古刹

Temples



町のあちこちに残る石仏、
室町の頃に建立された寺々。
小布施は、古くより信仰の里です。

1 2 松川沿いにある禅宗の古刹「玄照寺」 C-3

玄照寺の前身が創立されたのは、今から約600年前です。その後武田信玄の重臣高坂弾正により現在の寺号になりました。「玄照」は、高坂弾正の亡父「光山玄照」に由来しています。金剛力士像が凜として立ち並ぶ三門（仁王門・約180年前建立）は、町宝に指定されています。

3 高井家の墓所「祥雲寺」 D-2

高井鴻山のお墓があり多くの人が訪れます。鴻山の遺品も多く、柄が1.5mの愛用の太筆や妖怪画、書などが遺されています。また、小林聖花作の大間天井絵「心字鏡沙門龍図」が15畳敷きの広さに描かれ、光彩を放っています。



4



7



6



5

4 浄光寺「薬師堂」 F-1

寺伝によると天平2年(730)に、僧玄明が草堂を建て、大同4年(809)に、坂上田村麻呂が改築。現在の薬師堂は応永15年(1408)に再建されました。室町時代初期の代表的建築物で国の重要文化財に指定されています。薬師如来座像、十二神将、薬師堂壁画、金銅仏など多くの文化財が収められています。

小林「茶ゆかりの寺」「梅松寺」 D-1

室町時代の末期に頼山上人が創建しました。一茶が最初に訪ねたのは文化6年(1809)で、知洞上人は昼食を申し歓迎しました。以後一茶が65歳で生涯を終えるまで活動の拠点となりました。本堂前には「侍に 蠅を追せる 御馬哉」の句碑が建てられています。

6 一茶の句碑巡り

小布施の一茶句碑は、現在30基が建立されています。次の3基は一茶の真筆です。

- 小布施駅 「拾れぬ 栗の見事よ 大ききよ」
- 岩松院 「瘦かへる まけるな茶 是に有」
- 梅松寺 「真丸に 芝青ませて 夕涼み」

7 カナダ聖公会のサナトリウム「新生病院礼拝堂」 E-3

新生病院は昭和7年に設立。福永武彦など著名な作家も療養生活を送りました。緑の中に凛と立つ礼拝堂は一般の人にも開かれた教会です。玄関のステンドグラスには、小布施の栗とりんごが描かれています。

花のまちづくり

Flower Project



小布施町は、美しいまちづくりのために
「花による装い」「花による福祉の心の育成」
「花による産業の活性化」の
3つの目標を掲げています。

「花のまちづくり」は、小布施人の「町を愛する心」「お客様をおもてなしする心」を大切にする気風から生まれました。訪れる人に、花を通じた人と人との交流を楽しんでいただきたいと思っています。

1 花の情報発信基地「フローラルガーデンおぶせ」E-2
15000㎡の敷地を彩る花壇、築山、芝生の広場。季節ごとに表情を変える一年草の花壇や、宿根草がメインのポーター花壇を楽しむことができます。四季折々の花が咲き、年間を通して訪問客で賑わっています。





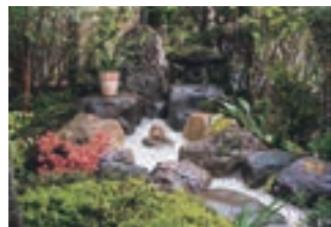
3



2



4



3 4 千曲川リバーサイドパーク
 A-2 A-3 B-2

上信越自動車道と並行する千曲川堤防上には、全長4km、約600本の八重桜の並木があり、「桜堤」の名で多くの方に親しまれています。また、堤防下には、菜の花、ソメイヨシノなどの花木が植えられた美しいふれあい公園があります。お花見の場として、見頃を迎える春は、特に人気の観光スポットとなっております。4月の桜と菜の花の時期には、「太陽の丘マルシェ」も開催されます。

花を通じた交流「オープンガーデン」（下 左の写真）
 個人が育てた庭園を公開しています。専門家が手がけた庭ばかりではなく、住む人が楽しみながら、心を込めてつくった庭です。住まいや町を花木で飾ることで、来訪者への歓迎の気持ちを表しています。ゆっくりとご覧ください。





小布施には古くから
受け継がれた郷土料理や
「小布施丸なす」「小布施栗」を
はじめとする特産の農作物など
小布施の風土が育てたものが多くあります。
「そこにしかない」
「そこでしか味わえない」ものを大切する
食の産業を育成し、
訪れる人に喜ばれるように努めています。

食

Food of Obuse-1





なす



ぶ



りん



どう

し

600年の歴史を持つ小布施栗

小布施の栗栽培は、室町時代からすでに始まり、その歴史は一説によると600余年とも言われています。松川がもたらす酸性土壌の扇状地には見渡す限り栗林が広がり、小布施は昔から栗の名産地として知られていました。江戸時代には將軍への献上品とされ、小布施栗は全国に名を馳せたのです。その品質は今も変わることなく、はじけそうなほどツヤツヤに実った栗は、栗おこわや栗羊羹、栗かのこななどの銘菓となってお客様のもとへ届けられます。



小布施丸なす

小布施の名がつく、この地方だけに古くからある農産物です。調理しても型崩れしにくく、菌ごたえのある食感を味わえます。他では食べることのできない、なすの味をお楽しみください。

小布施町の代表的な果物、りんごとぶどう

小布施は町の南部を流れる松川が氾濫を繰り返して形成された扇状地の上にあります、土壌は水はけが良く酸性で、果物の栽培に適した環境となっています。

食

Food of Obuse-2



寒暖の差が大きく雨が少ない気候を生かして、色付きが良く甘みのある果物が多く生産されます。特にりんごは赤身が濃く蜜がたつぷり。ぶどうはひと粒ひと粒が大きく甘みがいっぱいです。さらに、小布施は町の面積が狭いため、栽培地による味のばらつきが少なく、小布施産の果物はどれも高いクオリティを誇ります。

小布施には、イギリス生まれの調理用りんご「プラムリー」があり、旬の時期には町内飲食店がオリジナル料理を提供するフェアが行われます。ジャムやソフトクリームにするだけでなく、お店によって蕎麦に練りこんでみたり、ピザのトッピングにしてみたり、珍しい料理もあります。プラムリーは9月中旬が旬の時期。ここでしか味わえない物ばかりです。



農産物直売所ろくさん

(小布施屋) E-2

(一財)小布施町振興公社が運営する農産物直売所で、6次産業センター内にあります。地元農家が育てた果物や野菜を数多く取り揃えており、「小布施の旬」をお楽しみいただけます。

小布施町振興公社のオリジナル食品ブランド「小布施屋」の商品も販売されており、小布施の様々な味覚をお届けしています。



農産物直売所ろくさん(小布施屋)



「OBUSE花屋」

E-2

「フローラルガーデンおぶせ」

敷地内にあるレストラン。美しいガーデンを望む店内にはガラス窓を通して外光が射し込み、まるで温室のような空間を演出しています。地元

産の素材を吟味した創作料理がメインメニューです。



小布施の造り酒屋

この小さな小布施町には造り酒屋が4軒もあります。小布施の良質な水と米、恵まれた気候のもと熟成された美味しい日本酒が造られています。



オブセ牛乳

E-2

この小布施の地で昔から愛されてきた町の牛乳屋さん。素材を生かして低温殺菌処理を施した牛乳は、コクはあ
るけどさらっとした飲み心地。小布施に來たら、一度は試してみてください。



小布施の歳時記

四季を彩る小布施の自然の中で営まれる小布施の人々の暮らし。花が咲きみだれ、果実がたわわに実り、さわやかな風が吹き抜ける。訪れた文人、墨客を魅了した広々とした自然。歴史の浪漫が、小布施の里に深く息づいています。

● 4月中旬 ● 境内アート小布施×苗市

● 4月下旬 ● 菜の花の見ごろ

かつて菜種油の生産が盛んで「黄金島こがねしま」と呼ばれた小布施。今も黄金色の絨毯が千曲川沿いを覆い春を謳います。

● 桃の花の見ごろ

● 4月末 ● 桜堤の花の見ごろ

5月上旬 4 kmに渡る600本の八重桜が壮観です。

● 5月上旬 ● りんごの花の見ごろ

春



千曲川堤防の桜堤



桃の花



菜の花畑

温泉



四季の北信五岳と
夜景を望むおふせ温泉

せせらぎ緑道から少し登った小高い丘の上に、おふせ温泉「穴観音の湯」と「あけびの湯」があります。

それぞれ日帰り風呂の大浴場と露天風呂が完備されています。「あけびの湯」は宿泊も出来ます。露天風呂は青空の下にクッキリと稜線を描く北信五岳が一望でき、夜には善光寺平の夜景も楽しめます。



あけびの湯 F-3

夏



● 6月

● 栗の花の見ごろ

● 特産の小布施栗が一齐にクリーム色の花を付けます。

● さくらんぼ狩り

● 7月中旬

● 小布施見にマラソン

● 全国から毎年大勢の皆さんが参加されます。

● 小布施丸なす収穫

● 7月下旬

● くりんこ祭り・子供みこし

● 8月12日

● お花市

● 桜塚観音縁日で参拝者に盆花が配られます。
北信濃の恒例行事。

● 8月

● 小布施音楽祭

● 世界で活躍中の音楽家の演奏が楽しめます。

● もも、ネクタリンの収穫

小布施の夏祭り、くりんこ祭り

七月末の土曜日は、小布施の夏を彩る「くりんこ祭り」。小布施の人々が集い、山車とともに練り歩きます。「小布施囃子」の曲に合わせて踊りながら夏の夜を楽しみます。



小布施音楽祭



小布施見にマラソン



さくらんぼ

祭り



北信五岳（飯縄山・戸隠連山・黒姫山・妙高山 斑尾山は写真右に隠れています） 穴観音の湯 F-3

秋



北斎ゆかりの菊花「巴錦」

北斎の秀作である「菊図」は艶と量感を持つ作品。このモチーフに使われた菊は、巴錦と言われ幾度かの品種改良を経て、丈の短い大ぶりの花に成長。小布施の秋を飾るイベントでは巴錦の鑑賞会が催されます。

● 11月上旬

● 菊花展

● 10月下旬

● 小布施六畜市

● 10月上旬

● 米の収穫

● 9月下旬

● 栗の収穫

● 9月

● プラムリーフェア

● 期間限定新栗メニュー

● ぶどうの収穫

● 栗祭り

● ふじりんごの収穫



六畜市



プラムリーフェア



「栗どっこい」の「どっこい」(どっこ)とは樹の根という意味。地元で育てた露地物の野菜や果物などを、新鮮なまま提供する小布施の朝市です。一年を通して、地元で採れた農作物を中心に販売。味見の振る舞いもあり、住民と訪れた客のコミュニケーションも楽しい。小布施の特産品をいろいろ取り揃えています。

栗どっこい市

D-2



冬

(※行事は予定ですので変更になる場合もあります。)

- 1月14・15日
- 安市

● 日本酒の仕込み
4軒の造り酒屋が味を競っています。



雪景色の栗の畑

六斎市の名残の安市

谷街道と谷脇街道が合流する小布施では、江戸初期から市が立ち、毎月3と8の日の計6回開かれることから六斎市と呼ばれました。善光寺平の米や菜種油、木綿が江戸に運ばれ、江戸から多彩な文化や情報もたらされました。この六斎市の名残を見せるのが毎年1月14日、15日に町中心部にある皇大神社で行われる安市です。境内には福だるまや縁起物売る屋台が並びます。無病息災、五穀豊穰を祈願する行者の火渡りには、大勢の見物客が会場を埋めつくします。



● 江戸時代の六斎市の想像図

安市

Way OASIS



1

「ハイウェイオアシス 小布施総合公園」

B-4

小布施の西部の玄関口、ハイウェイオアシス小布施総合公園。

高速道路の「小布施パーキングエリア」に直結する公園です。雑木林や芝生広場と続く広い庭園、池のほとりにはスポーツ施設や野外ステージ、レストランなど各種施設が点在します。

1 修景園と噴水広場

北信濃の四季を満喫できるよう構成されています。池には鯉が泳ぎ、周辺には花木が植えられています。噴水広場は子ども達の絶好の遊び場です。

2 スポーツコミュニティセンター

施設内にはボルダリングや、スタジオがあります。カフェスペースを併設しており、だれでも手軽に楽しめます。

3 遊具広場

木製複合遊具やターザンロープ、ローラー滑り台等、いろいろ楽しめます。



5



4



3

OBUSE Hi-



2

IC 小布施スマートIC

スマートICは、ETC搭載車専用インターチェンジです。ハイウェイオアシスに隣接する小布施PAから一般道につながっています。ここから町内中心部まで車で5分と便利です。

町内主要施設経由で周遊するシャトルバスです。

8 「おぶせロマン号」

小布施総合公園前を起点として、
全天候狸芋ニスコート、野外ステージ、
ドッグラン広場、マレットゴルフ場、
農産物直売所等。

7 その他施設

全土産品も小布施町の特産品を各種取り揃えています。

6 レストラン・ファーストフード・ショップ

北信五岳を一望しながら「栗おこわ」や「ソフト栗いむ」など、ファーストフードから定食まで利用できます。お土産品も小布施町の特産品を各種取り揃えています。

5 **デイキャンプ場**
木々に囲まれた中でバーベキューを楽しむことができます。
(ご利用には予約が必要です。)



8



7



6

■ 観光案内問い合わせ

小布施文化観光協会 総合案内所
おぶせガイドセンター

TEL 026(214)6300
TEL 026(247)5050

2024年3月現在

開館時間	
	9:00～17:00
4～10月……………	9:00～16:30
11月……………	9:00～16:00
12～3月……………	9:30～15:30
	9:00～17:00
	9:00～17:00
3/21～11/20…	9:30～17:00
11/21～3/20…	9:30～16:30
4～10月……………	9:30～17:00
11～3月……………	10:00～16:00
	11:00～17:00 (季節により変更)
	10:30～17:00
	9:30～16:00
	9:30～16:30
	6:00～21:00 (朝風呂6:00～9:00)
	10:00～22:00
4月中旬～11月末……	9:30～17:00 (約1時間に1便)
の金・土・日曜日 及び休業期の平日	

掲載頁	名称	電話番号
12	ぎやらりい蔵	026(251)4033
12	ギャラリー唐十郎	090(4721)4971
13	ギャラリー小布je	026(242)6882
13	Art&Craftよしのや	026(242)6606
16	玄照寺	026(247)2100
16	祥雲寺	026(247)3256
17	浄光寺	026(247)3924
17	梅松寺	026(247)3522
17	新生病院礼拝堂	026(247)2033
22	農産物直売所ろくさん	026(242)6600
23	レストランOBUSE花屋	026(247)1187
28	小布施 ハイウェイオアシス	026(251)4111

● 宿泊施設

24	小布施温泉(あけびの湯)	026(247)4880
	おぶせの風	026(247)4489
	ヴァンヴェール	026(247)5512
	榎一客殿	026(247)1111
	素泊まりの宿 KOKORO	090(8843)9091
	ゲストハウス緑	026(213)4770
	ゲストハウスまある	
	The Hotel Obuse	026(247)6800
	ゲストハウス小布施	090(4706)9255
	ゲストハウスおぶせのあたり	

● タクシー

	つばめ長電タクシー	026(245)0351
	豊野タクシー	026(257)3232

● レンタサイクル

	町営森の駐車場	026(247)6572
	町営松村駐車場	026(247)5168
	小布施総合案内所(駅舎)	026(214)6300
	maaru(スポーツ自転車)	050(5328)1305

● 駐車場

	町営森の駐車場	026(247)6572
1日	普通 500円 二輪 300円	
	町営松村駐車場	026(247)5168
1日	普通 500円 大型 1,500円 二輪 300円	
	北斎館駐車場	026(247)5206
3時間	普通 400円 マイクロ 1,500円 大型 2,000円	超1時間 100円 500円 1,000円
	東町駐車場	026(247)5206
1時間	普通 200円	超1時間 100円 24時間最大 1,000円
1日	二輪 300円	

小布施町の主な施設の観光情報

掲載頁	名称	電話番号	入館料	休館日
7	北斎館	026(247)5206	大人 1000円 ※1 高校生 500円 ※1 小・中学生 300円 ※1 小学生未満 無料 20人以上 1割引	●12/31 ●臨時休館あり
8	岩松院	026(247)5504	大人 500円 小・中学生 200円 20人以上 1割引(要予約)	●4/20 般若会 ●秋分の日 施食会 ●12/8 成道会
9	高井鴻山記念館	026(247)4049	大人 300円 ※1 高校生 150円 ※1 中学生以下 無料 20人以上 1割引	●12/29～1/3 ●展示替時
10	おぶせミュージアム・ 中島千波館	026(247)6111	大人 500円 ※1 高校生 250円 ※1 中学生以下 無料 20人以上 1割引	●水曜日(9～11月を除く) ●12/29～1/3 ●展示替等による臨時休館
12	日本のあかり博物館	026(247)5669	大人 500円 高大生 400円 小中生 無料 20人以上 1割引	●水曜日(8,10,11月除く) ●12/29～1/1 ●展示替時
12	古陶磁コレクション 了庵	026(247)5866	大人 300円 中高生 200円 小学生以下 無料	●水曜日 (但し、祝日は開館) ●12/29～1/3
12	グラススタジオ GLASS STUDIO Licco	026(247)2754	無料	●不定休(冬期は休み)
13	小さな栗の木美術館	026(247)5166	無料	●火曜日 ●冬期間は原則休館
13	歴史民俗資料館	026(247)4927	大人 100円 ※1 中学生以下 無料	●月～金曜日(祝日除く) ●12/29～1/3
18	フローラルガーデン おぶせ	026(247)5487	大人 200円 高校生 100円 中学生以下 無料 20人以上 1割引	●年末年始 ●1月～3月の木曜日
24	小布施温泉 (あけびの湯)	026(247)4880	大人 700円 小学生 350円 幼児 無料	●毎月第3木曜日
25	おぶせ温泉 (穴観音の湯)	026(247)2525	大人 700円 小学生 350円 幼児 無料	●年中無休
29	おぶせロマン号 (小布施総合公園前発着)	026(214)9104	中学生以上 500円 ※1 小学生 300円 団体(10枚以上) 2割引 ※1日乗り放題	●冬期間

※1 障がい者手帳等お持ちの方およびその介助者半額

●特別展、企画展時に料金が変わります。 ●入館料、休館日などは変更になる場合があります。

●北斎館は展示替期間中、観覧室・入館料が変わります。